

11

記録データの出力

記録したデータの確認と出力をおこないます。

出力したデータファイルが、Windows のエクスプローラーで表示されない場合は

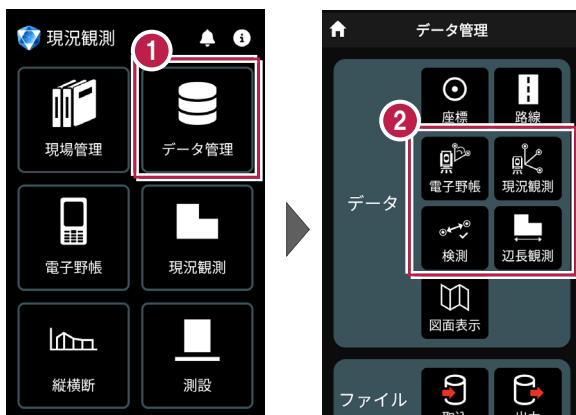
以下の操作をお試しください。

- ・エクスプローラーで「最新の情報に更新」をおこなう。（F5キー押下）
- ・USBケーブルを一旦抜いて差し直す。
- ・端末（スマートフォン）を再起動する。

11-1 記録したデータを確認する

電子野帳、現況観測、検測、辺長観測で記録したデータを確認します。

- ① ホーム画面の
[データ管理] をタップ
します。
- ② [データ] の [電子野帳]
[現況観測] [検測]
[辺長観測] の各ボタンを
タップして、記録したデータを
確認します。



[電子野帳]



電子野帳	
機器	3-31
対回/方向/正反/点名/目標高	水平角/鉛直角/斜距離
1-1-正	0° 01' 05"
◎ 3-30	89° 47' 05"
1.400	---
1-2-正	141° 42' 50"
● 4-82	90° 08' 20" ▾
1.400	52.078
1-2-反	321° 42' 40"
● 4-82	269° 51' 55" ▾
1.400	52.078
1-1-反	180° 00' 50"
● 3-30	270° 13' 10"
1.400	---

[現況観測]



現況観測	
機器	1: 4-88
点名/観測方法/目標高	水平角/鉛直角/斜距離
4-85	0° 00' 00"
◎ 後視	90° 04' 15"
1.530	---
G1	220° 32' 40"
● 通常	90° 59' 35"
1.530	18.286
G2	219° 25' 45"
● 通常	90° 12' 25"
1.530	17.983
G3	217° 24' 40"
● 通常	90° 11' 30"
1.530	17.524

[器械点詳細] : 器械点の詳細を表示します。

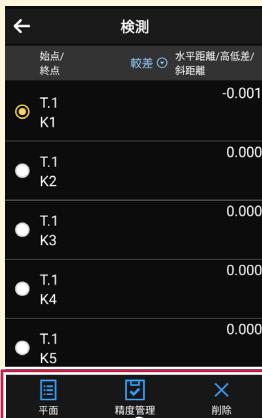
[器械点削除] : 器械点を削除できます。

[平均・精度確認] : 平均・精度を確認できます。

[視準点訂正] : 視準点を訂正できます。

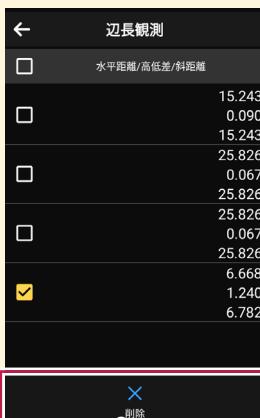
[視準点削除] : 視準点を削除できます。

[検測]



検測		
始点/終点	較差	水平距離/高低差/斜距離
◎ T.1 K1		-0.001
● T.1 K2		0.000
● T.1 K3		0.000
● T.1 K4		0.000
● T.1 K5		0.000

[辺長観測]



辺長観測	
点名	水平距離/高低差/斜距離
□	15.243
□	0.090
□	15.243
□	25.826
□	0.067
□	25.826
□	25.826
□	0.067
□	25.826
✓	6.668
	1.240
	6.782

[平面] : 平面で確認できます。

[精度管理] : 精度管理を確認できます。

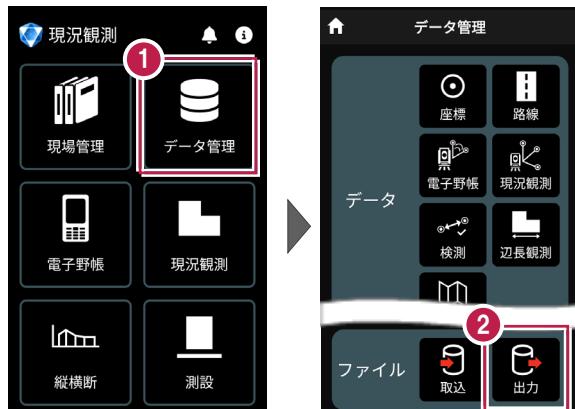
[削除] : データを削除できます。

11-2 座標データ（SIMA）を出力する

現場データ内の座標データを、SIMA形式で出力します。

- 1 ホーム画面の
[データ管理] をタップ
します。

- 2 データ管理画面の
[ファイル] の [出力] を
タップします。



- 3 [座標（SIMA）] を
選択して [次へ] をタップ
します。

- 4 測地系を選択します。

- 5 現場データ内の座標データ
をすべて出力する場合は
[全て] を選択します。

- 6 [次へ] をタップします。



座標データを SIMA 形式で出力する場合は

測地系設定で測地系（「省略」「測地成果2011」「測地成果2024」）を選択できます。



座標データを CSV 形式で出力する場合は

データ出力で [座標 (CSV)] を選択して [次へ] をタップします。

出力されるのは、以下の項目です。

・座標 (CSV) … 点名, X座標, Y座標, Z座標, 属性, 計測日時, 目標点名, 目標X座標, 目標Y座標, 目標Z座標, 差 (水平距離) [単位:mm], 差 (鉛直距離) [単位:mm], 差 (斜距離) [単位:mm]

※座標値の丸めは [設定] - [現場共通] - [桁設定] の [X/Y座標] [Z座標] の座標の丸めを使用します。（[座標 (SIMA) も同様です。）

- 7 端末内のフォルダーに出力する場合は [指定フォルダー] を選択して [次へ] をタップします。

- 8 ファイル名を指定して [実行] をタップします。
Import_Exportフォルダーに座標データが出力されます。



座標データを選択して出力する場合は

- [指定] を選択して [次へ] をタップします。

出力する座標データの属性のチェックをオンにして [次へ] をタップします。



アプリ共有（クラウドストレージやメールなど）に出力する場合は

- [アプリ共有] を選択して [次へ] をタップします。

ファイル名を指定して [実行] をタップします。

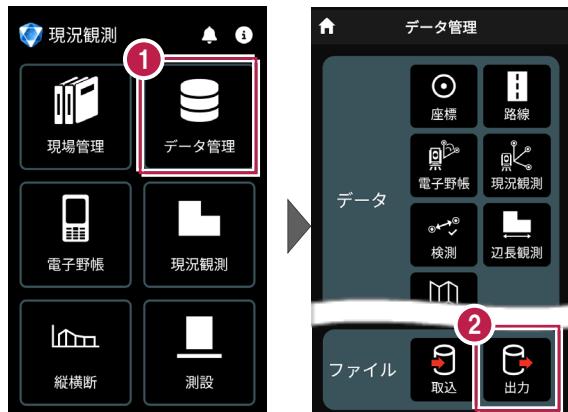
出力先（共有先）のアプリを指定すると座標データが出力されます。



11-3 FC連携データを出力する

現場データ内のFC連携データを、MTO形式で出力します。

- 1 ホーム画面の「データ管理」をタップします。
- 2 データ管理画面の「ファイル」の「出力」をタップします。



- 3 「FC連携」を選択して「次へ」をタップします。
- 4 端末内のフォルダーに出力する場合は、「指定フォルダー」を選択して「次へ」をタップします。



- 5 ファイル名を指定して「実行」をタップします。
- Import_Exportフォルダーに座標データが出力されます。



書き込む座標データは「6万5千点以下」にしてください。

ONEの測点数の制限（6万5千点）を超えている座標データはMTOファイルには出力されません。

11-4 観測データ（APA）を出力する

現場データ内の観測データを、APA形式で出力します。

- ① ホーム画面の
[データ管理] をタップ
します。

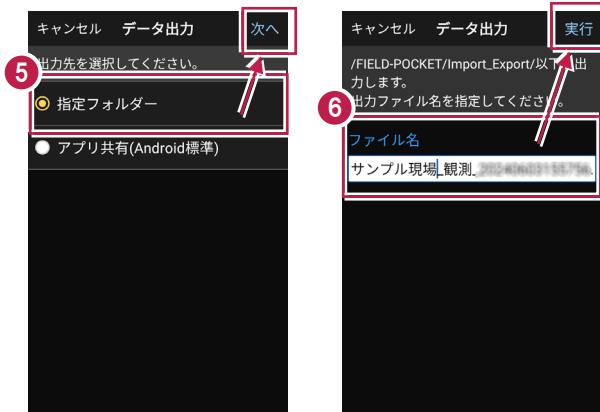
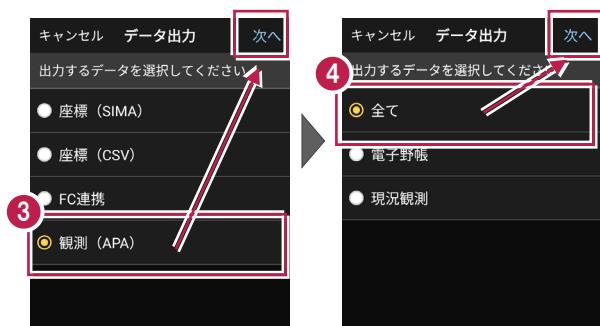
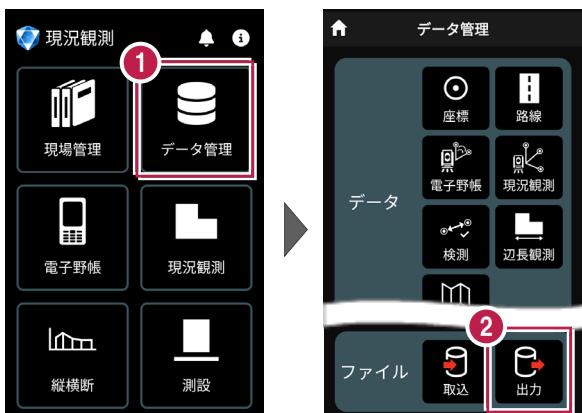
- ② [データ出力] をタップ
します。

- ③ [観測（APA）] を選択
して [次へ] をタップします。

- ④ 出力するデータを選択して
[次へ] をタップします。

- ⑤ 端末内のフォルダーに出力
する場合は、
[指定フォルダー] を選択
して [次へ] をタップします。

- ⑥ ファイル名を指定して
[実行] をタップします。
Import_Exportフォルダー
に観測データ（APA）が
出力されます。



11-5 現場データ（PKZ、PKZS）を出力する

FIELD-POCKETオリジナルの現場データ（PKZ、PKZS）を出力します。

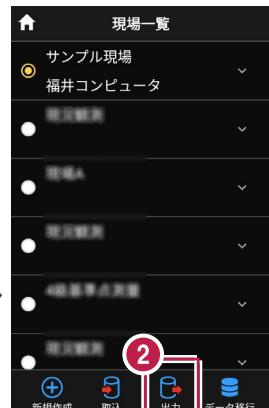
PKZ、PKZS ファイルを他プログラムで読み込むことはできません

PKZファイルは、他のスマートフォンのFIELD-POCKETとの現場データの受け渡しなどに使用します。TREND-ONEなど他プログラムで読み込むことはできません。

- ① ホーム画面の【現場管理】をタップします。



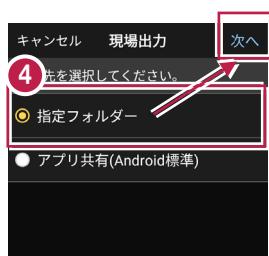
- ② 【出力】をタップします。



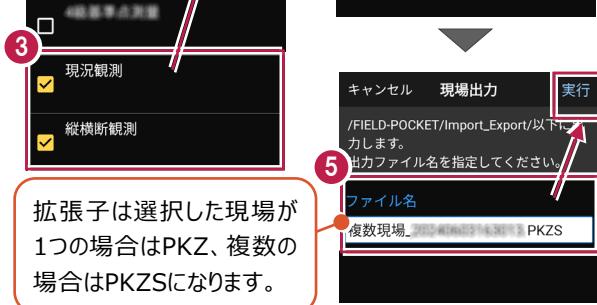
- ③ 出力する現場を選択して【次へ】をタップします。



- ④ 端末内のフォルダーに出力する場合は、【指定フォルダー】を選択して【次へ】をタップします。



- ⑤ ファイル名を指定して【実行】をタップします。



Import_Exportフォルダーに現場データ（PKZまたはPKZS）が出力されます。